



赤磐

平成17年 **12** 月議会

市議会だより

No.3



も く じ

12月議会のあらし	2P
委員会のうごき	6P
決算審査特別委員会	10P
15人の議員が一般質問	12P

12月議会の あらまし

議案審議

12月定例会を、11月28日から12月22日まで、25日間の会期で開催した。議案74件、議員発議の意見書1件を可決した。また、請願5件を不採択とし、人事案件1件を審議した。

平成16年度決算認定

農業委員報酬

問 農業委員の報酬額改定の根拠と、農業委員会の職務について、17年度の開会実績と18年度の予定についてたずねる。

答 委員一人当たりの担当耕地面積・農家数が約倍になること、また、他市の状況を考慮し、報酬額を月額1万4416円から2万8000円に改定した。

職務は、農地法や農業経営基盤強化促進法などの法律に基づく農地の売買、貸借、転用などについて審査を行う。

農業行政の執行や認定農業者の育成、農地流動化の推進、また、農業者の公的代表機関として意見を公表したり、他の行政庁に建議し、その諮問に応じて答申を行った。10日前後に開催しており、18年度もこの予定である。

特養補助金

問 特別養護老人ホームバインスクエア（吉井）に関して、補助金の交付時期、交付金額、対象及び土地の取得時期はどうか。また補助金事前交付の事情は。

答 国・県より平成16年8月4日交付決定。

定例会で、16年3月に5000万円、12月に5516万円の承認を得た。これは用地費を含めたもので、事前交付は事業が遅滞なく進行するため吉井町が資金の前渡をしたものである。

不納欠損

問 市税の中で5100万円に上る不納欠損額が計上されているが、なぜ旧4町の決算で処理をしないで、1カ月だけの赤磐市の決算の中で処理されたのか。

答 合併により旧町決算は打ち切り決算となる。

税等の未収入や未払金は、新市に引き継ぐ特殊な決算となっている。地方税法により、5年を経過すると時効で消滅するので年度末をもって不納欠損処理をした。

どうする 滞納対策

国民健康保険 特別会計

問 収入未済額が多い。その内訳と解消方法は。

答 赤磐市の収入未済額滞納繰越は、昭和52年度からのものである。

長期、多額の滞納者には納税相談をし、またそ

赤磐市一般会計

の人たちには資格証、短期の被保険者証を発行している。

問 収入未済額の解消にどのように取り組むか。

答 収納対策システムの構築による滞納者の名寄せ帳の整理を図り、職員・嘱託徴収員による訪問徴収の強化を行い、精力的に回収に取り組みたい。

また、滞納者の実態調査を踏まえて、差し押さえ・強制換価を実施し、納税無力者に対しては、執行停止、即時欠損処理を行い、新たな滞納の発生を食い止めたい。



図書館建設

基本計画

問 図書館の基本計画作成業務に関して、この基本計画の作成というのはどういう範囲を予定しているのか。

答 利用者趣向の高いサービス提供と効率的な運営を目指すための指針である基本構想を踏まえて基本計画案を作成、公表する。

またパブリックコメント期間を設けて広く市民から意見を募集したり、アンケート調査により、市民の要望を聞き、基本計画を策定していきたい。

周辺整備

問 図書館周辺の整備事業に関して道路、桃太郎像、忠魂碑など各委員会に関わる事業がたくさんあるが、調整作業はどのように進んでいるのか。

また周辺地区との調整は進んでいるのか。

答 今後は所管が違う関係で調整の必要が出てくると思われるが、内部での調整をしながら具体的実施案が出てきた時点で担当委員会での協議調整に入っていきたい。

周辺地域との調整は建設計画があるということと地元で協力をお願いし、関係部署との協議が整い次第委員会に諮り、地元説明会を行いたい。

検討委員会

問 図書館建設の検討委員の選任について、昼間ではなく夜開くことになれば幅広い人選ができるのではないか。

また、報酬はいくらか。

答 学識経験者、図書館協議会の代表者、平素利用されている人の代表者、図書ボランティアグループの代表者、学校関係の代表者が望ましいと考えている。報酬は月額6500円を予定している。

問 検討委員会の人数は何人ぐらいを予定しているのか。

答 18人以内で組織する予定である。

財源

問 合併特例債を使うと聞いている。どれくらい使い、どんな計画なのか。

答 建設の財源は合併特例債を使う予定であるが、計画の内容はまだ固まっていない。



中央図書館建設予定地（下市）

グラウンドゴルフ場建設

用地

問 地元中島地区との調整は終了したのか。

中島地区内での訴訟などの問題は解決したのか。また、駐車場が狭くなつたが計画変更はできないか。

答 用地問題に関しては地権者との説明会を実施し、ほぼ全員の参加を得て建設のスケジュール・概要などを説明した上で協力を要請している。

訴訟問題は9月5日付で和解が成立したと聞いている。

40台くらいは駐車できるように計画しているが、大会があると不足すると思われるので、別途検討を要すると思われる。

土地収用法

問 建設用地を土地収用すると聞いているが、地元からの強い要望で建設するなら、土地収用法の適用は不要ではないか。

答 県とも事前協議し、窓口にも行き指導を受けている。現在は収用法の適用を受けるべく申請の手続きに入っている。

問 土地収用法で優遇しなければ、市に収納される税金はいくらか。

答 税金の金額は試算ができていない。収用法の適用事業となると控除がある。



グラウンドゴルフ場建設予定地（中島）

学校給食センター

なぜ統合か

問 赤坂給食センターは、なぜ山陽給食センターへの統合でなければならぬのか。

答 距離、配食数あるいは施設の現状等から考えて3カ所への統合を予定している。

吉井給食センターはそのまま残す。2つ目が山陽給食センター、3つ目が桜が丘に2つある給食センターを1つにというのが3カ所の予定である。

減額補正

問 なぜ減額補正をしたのか、PTAや学校関係者との調整はできているのか。

答 調整に関しては校長、PTA会長による学校給食運営委員会を開いて市教委としての考えを説明し、おおむね了承を得た。今後もPTAの方に説明していく予定である。

統合の作業を進める上で工事期間のこともあり、準備のため赤坂給食センターの工事費を減額し、統合のための設計費を補正したものである。



山陽給食センター（西中）

請願5件を 審査しました。

請願

パートタイム労働者等の均等待遇実現を
求める意見書採択を求める請願書

《不採択》

【請願の要旨】

パート労働者は基幹的労働力として重要な位置を
占めているにもかかわらず、賃金や労働条件、不安
定雇用など、処遇は改善されていない。

よって、国に対して正規労働者との均等待遇確保・
ILOパートタイム労働条約を早期に実現すること
などの意見書を決議されたい。

【賛成討論】

世界の流れは既に均等待遇確保のルールが確立し
てきているので、請願に賛成である。

福木京子議員

岡山県地方最低賃金の引き上げと最低
賃金制度の抜本的改正を求める請願書

《不採択》

【請願の要旨】

労働者の低賃金の状況を改善するため、法定最低
賃金を引き上げていくことが重要である。

生計費原則に基づいた『健康で文化的な最低限の
生活』が、保障されるように意見書を決議されたい。

【賛成討論】

最低賃金全体の水準を上げていかない限り、状況は
よくなるので、請願に賛成である。

福木京子議員

サラリーマン増税、消費税の引き上げ
など、増税に反対する請願書

《不採択》

【請願の要旨】

政府は、サラリーマン増税・消費税の引き上げを
強行しようとしている。政府に対して定率減税の全
廃、給与所得控除の縮小、サラリーマン増税など
を行わないように意見書を決議されたい。

【賛成討論】

法人税などで財源を確保してやれば良いので、請
願に賛成である。

福木京子議員

最低保障年金制度の確立について、貴
議会の意見書を厚生労働大臣へ提出す
ることを求める請願

《不採択》

【請願の要旨】

年金制度の抜本的な欠陥が、生活保護受給者のう
ち、高齢者世帯が半数を占めるという異常な事態を
つくり出している。厚生労働大臣に対し最低年金制
度の確立を求める意見書を採択されたい。

【賛成討論】

国の制度で生存権を保障することは、当然である
と考えるので、請願に賛成である。

川澄章子議員

指定ゴミ袋の全面有料化に反対する請願

《不採択》

【請願の要旨】

住民負担の公平化・分別の進展によるゴミの減量・
近隣自治体の有料化を理由に、熊山・吉井並の全面
有料化を、山陽・赤坂地域に拡大しようとしている。
熊山・吉井地域のゴミ処理手数料を、現行の山陽・
赤坂地域並に引き下げるべきである。

【賛成討論】

ごみ袋の有料化に反対する署名も924人集まっ
ているので、請願に賛成である。

川澄章子議員

意見書を 提出しました。

意見書

議会制度改革の早期実現に関する意見書

【意見書の要旨】

本格的な地方分権時代を迎え、住民自治の根幹を
成す議会が期待と責任を果たしていく上で、地方議
会制度の改正が必要不可欠である。

よって、法定受託事務に係る制限を廃止するなど
議決権を拡大すること、調査・監視権を強化するこ
と等抜本的な制度改革をされることを強く求める。

【意見書の提出先】

内閣総理大臣・総務大臣・衆議院議長・参議院議
長

総務常任委員会

12月15日に総務常任委員会を行った。
議案3件、請願1件について、審査した。

農業委員の報酬の改定

問 農業委員の人数が半減し、1人の委員の仕事量は増えるのか。
また、一般の委員と会長との仕事の差はどこか。

答 農業委員1人当たりの担当エリアが広がり業務量、区長との調整も増大する。
会長は農業委員会の代表としての会議もあり、会長としての仕事も増える。

税務課臨時職員の雇用の理由は

問 税務課の臨時職員の雇い上げは、必要なのか。国体推進室の職員をあてはどうか。

答 国体が終了した時点で、必要人員を残して配属換えをし、税務課へは申告を控え、各支所から1人、国体から1人、合わせて4人配属した。
3人の臨時職員の雇い上げは、旧4町のやり方を統一し、所得の申告漏れを防止するために1カ所に集めて準備するためのものである。

なぜ前納報奨金は減ったのか

問 前納報奨金が減額補正されているのはなぜか。

答 前年の見込みで計上していたが、全期前納する人が減ったことでの補正である。
景気の低迷によることが主な原因で、報奨金の率が下がったことも影響していると思われる。
徴収率が下がらないように努力する。

空室の有効利用

問 吉井支所の修繕で、2階は全部空くのか。2階の有効利用で、空いた所を市民に利用させるなど利便性を図ってはどうか。

答 2階は全部空いているので、会議室に利用し、行政サービスの向上を図りたい。



吉井支所1階フロア



確定申告はお早めに

〒717-0001 岡山県赤磐市吉井、フリンティアスト
www.nta.go.jp
確定申告 国民生活センター

厚生常任委員会

12月16日に厚生常任委員会を行った。
議案6件、請願2件について、審査した。

指定ごみ袋の全面有料化は避けられないか

新年度より実施する

問 4月1日からの有料化は、充分な審議とPRができていないので、市民の理解が得られないのではないか。

答 合併協議会の調整方針に従い、廃棄物減量等推進審議会で審議され、

その答申を受けての上程である。

市民へは、議会で承認されてから周知徹底を図り、理解をいただくための努力をする。

問 旧山陽地域では、特にごみの分別・減量に協力しているのに、料金だけの統一は納得できないのではないか。

答 旧熊山・吉井地域では以前から有料であり、公共料金が地域によって異なるのは不公平感がある。

ごみ袋引換券の無料配布を廃止し市内の料金を統一しなければならぬ。

問 料金統一とともに、山陽地域で実施している26分別を各地域でも取り組むことをセットで考えられないか。

答 吉井・熊山地域では、和気北部衛生施設組合で他の市・町とともに処理しているためすぐにはできない。赤坂地域から段階的に分別を進める。

問 新市の、広域ごみ処理計画はいつごろになるのか。

答 赤磐市総合計画は、現在作成中であり、意見を踏まえながら進めたい。

居宅介護支援事業は大丈夫か

体制を整える

問 居宅介護支援事業は、官から民へ移行するが、チエック体制はできるか。

答 地域包括支援センターの業務に、居宅介護支援事業所の支援業務も含まれており、ケア会議などを開催し困難事例等に対応できる体制をつくるので問題ない。

国民健康保険の適正基金は

最低5億円程度必要

問 基金の内容と現在の積み立て金額はどうか。

答 医療費が高騰した場合の保険給付の財源として積み立てている。現在の基金は4億2500万円である。

国保会計を組むうえで、保険給付費・老人拠出金・介護納付金を合わせた額の最低5%位を組むよう指導があるので、5億円程度は積まなくてはならない。



赤坂環境センター (多賀)



熊山居宅介護支援事務所 (熊山保健福祉総合センター内)

産業建設
常任委員会

12月13日に産業建設常任委員会を行った。
議案6件、請願2件について、審査した。

道路改良工事の進捗状況は

千鉢奥吉原線

問 千鉢奥吉原線の道路改良工事の進捗状況、いままでの経過はどうか。

答 平成14年に改良工事に着手、総延長が620mである。

14年度に1億5000万円、15年度1億5600万円、16年度1億5000万円、17年度2492万円の法面工事を現在施工している。

17年度は当初1億3000万円、今回500万円を追加計上している。18年度は500万円を予定している。

問 17年度当初の未発注額が8000万円以上あり、追加で500万円もある。繰り越さないでできるのか。

答 繰り越ししなければ完了できない。なお16年度の繰り越し分は18年1月に完了する。

問 17年度当初に計上済の1億3000万円のうち、同じ工種である法面の切り取りは同時発注すべきではないか。

答 残土処理場の手違いなどがあり、分離発注となった。

今後は同時発注に向けてやっていく。

問 道路新設改良費の測量設計委託料575万円の調査箇所はどこか。

答 委託料は3路線の概略設計を予定している。五日市西中線は、補助事業認可にむけて、橋梁設置箇所の選定等、1200mの事前調査費は225万円である。

市庁舎進入路は図書館建設に伴うもので、接続道路が4車線であり、安全を考慮した取り付けや道路の下に既存水路を設置する工法を検討する。調査費は206万円である。

問 今回の補正に水道管の石綿管改良工事に伴う、設計委託料1340万円と工事請負費8904万円が計上されているが、残りの工事費は18年度当初予算に計上するのか。

答 18年度当初予算に残り2億円全部を計上する。

どこの測量
設計委託料か

石綿管改良
工事はいつ
までに



岡山県赤磐市議会だより No.3 (8)



市道千鉢奥吉原線工事現場（千鉢池内）

市道千鉢奥吉原線工事現場（千鉢池内）

文教常任委員会

12月14日に文教常任委員会を行った。
議案1件について、審査した。

中央図書館建設

問 図書館建設は、じっくり考え直し、調整すべきではないか。どこまで緊急性があるのか。

答 現在の中央図書館は、蔵書数も増え、非常に狭く新しいメディアにも対応できない。また、合併に伴い市役所の職員も増加し、事務所も狭くなっている。旧山陽町時代から一定の間は図書館として使用した後に、新たな独立した図書館を建てるという背景もあり、緊急を要する。

中央図書館内

問 PFI方式の導入を考えるべきではないか。

答 PFI事業は、事業者にとって、その施設から収益が上がり、かつ発注者が起債を起させない場合等に最も多く採用される方式である。中央図書館については、合併特例債の充当を考えている。

問 良い人材の確保と、専門職の採用や対応ができる職員の養成が必要と思うがどうか。

答 構想ができあがれば人員数も決まる。その後、十分に協議し、図書館司書の採用・育成に努力する。

問 この事業は早急に実施する必要があるのか。

答 BTO方式については、検討する。

問 赤坂の山陽給食センターへの統合は、合併に伴う事業であり、平成18年度までに限られている100%補助の対象事業か。

答 赤坂の山陽給食センターへの統合は、合併に伴う事業であり、平成18年度までに限られている100%補助の対象事業か。

問 市全体の学校給食運営委員会を整備しないのか。

答 18年度から体制整備を行っていく。

給食センター

問 給食センターの統合・改修が必要なら、一番古い吉井からすべきであり、なぜ赤坂から着手するのか。

答 吉井給食センターは、単独事業となり合併補助金の対象にならない。他の施設も計画に基づき実施していく。

問 通学区域委員の選定はどうするのか。

答 委員の選定は12月に行い、委員会は、1・3・5・7・9月の予定で開き、その間臨時会も考え、9月を目途に方向性を出す。

通学区域の見直し

グラウンドゴルフ場建設

問 地権者からの同意をどのような形でもらったのか。

答 土地収用法を適用すれば税金はどれくらい安くなるのか。

答 土地譲渡承諾書は、区長が個別に承諾書を持って地権者を回り、全員土地譲渡承諾書が提出されている。

問 土地収用法の事業が認定になり、税務署との協議が整えば課税免除となる。

答 円滑な事業推進を考慮し、事前準備行為として行った。

問 選定に公募や議員を入れる考えはないか。

答 民意の反映については該当するPTAの意見を集中的に聞き、議員の意見は検討委員会で協議していただく。検討委員会の内容は文教常任委員会へ報告する。

問 検討委員会で全市の方向性を定め、緊急を要する地域の協議を集中して行っていく。

答 委員会は、保・幼・小・中学校の代表・保護者の代表者及び地域代表者を考えている。

問 緊急を要するのは桜が丘地区だがどう考えているのか。

答 委員会は、保・幼・小・中学校の代表・保護者の代表者及び地域代表者を考えている。

問 選定に公募や議員を入れる考えはないか。

答 民意の反映については該当するPTAの意見を集中的に聞き、議員の意見は検討委員会で協議していただく。検討委員会の内容は文教常任委員会へ報告する。



決算審査
特別委員会

12月9日に決算審査特別委員会を行った。
平成16年度の旧4町（平成16年4月1日から17年3月6日まで）及び赤磐市（平成17年3月7日から3月31日まで）の一般会計並びに特別会計の58議案について決算審査を行い、すべて認定すべきものと決した。

一般会計

山陽町

問 保育料の不納欠損が、628万円あるが、今後の滞納対策はどうか。

答 訪問、夜間徴収、分納推進、督促状の送付等に対応しているが、保育所にも協力を求め、不公平のないよう努力する。

問 公園の草刈り、緑道の剪定委託料は中小の内業者に委託してはどうか。

答 規模、内容等を十分に吟味しながら、業者、地元、シルバー等委託先を検討していく。

赤坂町

問 天然ライス炊飯施設の結露対策をしているが、今後の見直しはどうか。

答 保健所からも指導があり対策をした。施設も10年経過し、老朽化も進んでいる。今後も修繕が必要となるが、効率的に使用していく。

問 城山親水公園の管理事業費の内容はなにか。

答 毎年の管理料で、地元への除草作業、植木の剪定委託料等である。

熊山町

問 町営バス運行委託料990万円の委託先はどこで、契約方法は入札か。

答 随意契約で日本総合サービス（株）に発注している。今後は、見積入札を行いたい。

問 大和ハウスが管理する桜が丘東終末処理場の汚泥処理、汚泥運搬委託料を町の会計で決算するのはなぜか。

答 和気・赤磐共同コンポストへは、参画している町しか持ち込めないので行政で運び込み、経費は大和ハウスから受け入れ、雑入で処理している。

吉井町

問 つちのご基金は、利息と積み立てだけではないか。関連するイベントは、何かあるのか。

答 初日の出、城山公園まつりを始め、各種イベントへ特捜隊が参加し、現地へ訪れる方もいる。基金もいずれ見直す。

問 バインスクエアが完成していない2月になぜ1億516万円を支払ったのか。

答 当初の完成予定が平成16年度で、国庫補助金も平成16年度でくる。江原恵明会との約定書もあり、年度内に支払いをした。

赤磐市

問 電算システム構築工事、施設維持管理工事で1億2000万円、電算システムの備品で4億6700万円を執行している。

リースの方が良かったのではないかと。

特別会計

赤磐市

国民健康保険

問 収入未済額が計上されているが、滞納者への対応はどのようになっているのか。

答 資格証または短期証を交付している。分割納付等を求めているが、あまり効果は上がっていない。

居宅介護支援事業

問 特別会計でやるのが良いのか。

答 社協や民間に委託する方法もあるのではないかと。

問 旧4町では、直営または社協委託でサービスの確保を図ってきた。民間の場合、ホームヘルプ、デイサービスの利益誘導が懸念される。公正、中立にできるなら民間で構わない。

下水道事業

問 下水道の施設管理を、研修等を受けた職員が行えば委託料が削減できるのではないかと。

答 管理の総合的なあり方について今後十分検討する。

電天オートキャンプ場

問 人件費を考えると、冬期は閉園するなど開園時期を見直してはどうか。

答 データを十分分析してやり方を検討する。

【平成16年度 旧4町43会計決算額】 平成16年4月1日から平成17年3月6日まで

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
山陽町一般会計歳入歳出決算	61億2,956万円	61億 410万円	2,546万円
山陽町6特別会計歳入歳出決算	50億1,237万円	58億8,319万円	△8億7,082万円
赤坂町一般会計歳入歳出決算	23億5,141万円	22億4,577万円	1億 564万円
赤坂町4特別会計歳入歳出決算	13億3,935万円	12億7,278万円	6,657万円
熊山町一般会計歳入歳出決算	35億8,940万円	33億3,696万円	2億5,244万円
熊山町10特別会計歳入歳出決算	21億 682万円	20億5,121万円	5,561万円
吉井町一般会計歳入歳出決算	34億5,948万円	34億2,798万円	3,150万円
吉井町19特別会計歳入歳出決算	27億6,544万円	27億8,537万円	△1,993万円

【平成16年度 赤磐市15会計決算額】 平成17年3月7日から3月31日まで

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
赤磐市一般会計歳入歳出決算	59億4,786万円	44億4,934万円	14億9,852万円
赤磐市14特別会計歳入歳出決算	61億3,921万円	54億5,830万円	6億8,091万円

決算審査特別委員会

【目 的】

平成16年度旧町公営企業会計歳入歳出決算の認定について
 平成16年度赤磐市公営企業会計歳入歳出決算の認定について
 平成16年度旧町一般会計歳入歳出決算の認定について
 平成16年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について
 平成16年度旧町特別会計歳入歳出決算の認定について
 平成16年度赤磐市特別会計歳入歳出決算の認定について
 に対する審査

【委員定数】

9人

【委 員】

委員長	佐藤 武文	副委員長	北川 勝義	委 員	武本 一郎
委 員	下山 哲司	委 員	海野 雅之	委 員	福木 京子
委 員	小倉 博	委 員	羽原 章	委 員	森 重信

決算審査の経過

今回の決算審査特別委員会は、平成16年4月1日～17年3月6日までの旧4町の一般会計4決算・特別会計39決算及び平成17年3月7日から3月31日までの赤磐市一般会計決算・特別会計14決算の計58議案の審査を行った。

委員長、副委員長が事前に詳細な調査を行った上で委員会を開催したが、議案件数が膨大であり、また多岐にわたるため、午前1時30分までの長時間の慎重審査となった。全議案を認定すべきものと決したが、委員会での質疑の中で指摘された数多くの点、各事業における改善と効率的な運営方法や業務委託の見直しを図り、特に多くの決算にみられる不納欠損や収入未済額等には十分な対策を講じた上で、平成18年度予算に必ず反映することを執行部に対し強く要望した。

一 般 質 問

市の考えを問う

15人の議員が登壇し市の考えをたどりました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



問 18年度は市民のために
どのような市政を発揮するのか

答 合併特例債を活用し
健全財政を維持し市政に取り組む



佐藤武文議員

問 厳しい財政状況が続く中で、市長は就任後多くの約束事をされた。岡山県においても、各種事業の大幅なカットと

大胆な歳出抑制が引き続き実施され、市町村への財政負担が益々増加することが予測される。

答 平成18年度予算編成に当たり、新生赤磐市が合併して良かったといわれる、多くの施策を実現するため、どのような市政の取り組みをいつのか。財政状況が厳しい事は、十分理解している。無駄は省き、継続事業

については、点検作業も指示している。17年度は、4町継続事業の緊縮型であったが、18年度は、合併特例債を有効に活用し、市民のための市政に取り組む。地方交付税の削減などによる歳入不足

が予測されるが、行財政改革を進めながら、住民福祉につながる事業を推進していく。

ごみ処理施設は積極的に取り組むべきではないか

問 市民生活に欠かすことのないごみ処理は、大変重要な問題で

ある。広域での計画が進んでいたが、中途で破断し、新たな枠組みで、施設整備を考えなければならなくなつた。

新設には、多額の費用負担や、隣接町との協議も必要である。時間的余裕がないので、積極的に取り組むべきではないか。



山陽桜が丘清掃センター(中蔵)

答 いろいろな諸事情で、新たな枠組みでごみ処理広域化対策協議会を立ち上げなければならなくなつた。赤磐市を中心とした新たな枠組みを視野に、広域のかつ総合的な廃棄物処理・リサイクル施設の整備を早急に検討する。

表紙のひとこと

赤磐市消防団の初出式

赤磐市消防団の初出式が、1月15日(日)山陽ふれあい公園総合体育館で盛大に開催されました。合併してはじめての初出式です。

当日は、4つの方面隊の代表約600人が勢揃いし、数々の表彰も厳かに行われました。各方面隊長の号令の下、きりっとした緊張感が伝わってきました。

市民の方々のために、影となって頑張ってくださいている消防団員の皆様に、改めて敬礼いたします。



和気北部衛生施設組合

問 ごみ処理広域化計画の見通しを早く決めよ

答 赤磐市を中心に新たな枠組みを早急に検討



縦野志郎議員

問 ごみ処理広域化計画の見直しはどうか。

23年の北部衛生組合の期限切れ（焼却施設の耐用年限）までに建設しなければ社会問題へと発展する恐れがあると思つた。

答 合併でごみ処理広域化対策ブロックの見直しをしている。国の補助金の要件に当てはまるように赤磐市を中心に、備前

市・和気町・佐伯町の枠組みを視野にいれてごみ処理施設計画を早急に進める。

問 公共事業を進めていく際にPFIを導入して建設費や運営費を効率的にすべきではないか。

また指定管理者制度で民間会社や

NPO法人に委託管理できる事業や施設はいくつあるのか。

答 PFIは、民間の資金やノウハウを活用して施設の建設や運営管理を行うもので、契約手続きも煩雑多岐にわたり大手ゼネコンや総合商社に限られる。しかし今後の大型公共施設を建設する場合はPFIも検討する。

指定管理者制度については、市に229の公共施設があり、そのうち117施設を9月までに指定管理者を公募するか、しないか等を協議する。

問 4町合併協議会のときに、合併後は企業誘致をして雇用の拡大を図り市も大いに発展をすると言っていたがどうか。

答 企業誘致で雇用の拡大を図る政策は、若者の定住や税収確保の観点から旧町段階でも取り組んできた。赤磐市では交通条件や立地条件、奨励制度や優遇措置を活用して積極的に優良企業の誘致に取り組みたい。

問 議会のテレビ中継システムを

答 議会の意向を踏まえ実施したい



小田百合子議員

問 行財政改革大綱の進捗状況を公開せよ。

答 市職員の改革に対する考えを把握するため、業務の改善・財政の健全化策などの行財政運営に関するアンケートを実施した。

審議会も開催している。今後は大綱の素案も提示して、審議してもらおう。

問 赤磐市のハザードマップは、安全、安心のまちづくりには欠かせない緊急課題だが、一体いつになったら作成し配布するのか。

答 現在、地域防災計画の策定を進めている。18年度の当初予算に盛り込むべく積算中である。

市民の声を聞いているか

問 市長は「市民の声を聞くために、地域へ出て



まちづくり懇談会

行くことを前向きに取り組んでいく」と言っていたが、そろそろ腰を上げて市民との対話の機会を作って欲しい。

答 赤磐市総合計画を策定中だが、この内容について、年明けには地域へ出て行き、意見を聞く市政懇談会を開催する。

問 図書館建設に関する市民アンケートを実施するつもりがあるのか。

答 基本計画案が公表されたら、パブリックコメントと、図書館の利用者のアンケートを実施したい。

問 母体保護について
どう考えるか

答 子育て支援の
充実を図る



実盛祥五議員

問 昭和23年7月13日に法律で決まった。

平成15年全国で31万9831人が妊娠中絶、これも少子化に対して影響があるのでは。

19歳の中絶が50人に1人、20歳前後がピークという集計が出ている。性教育の話し合いは市長はどのようにつまみしているか。

答 平成16年度の人工妊娠中絶数は旧4町の合計が1009件であり、そのうち20歳未満は8件、7・3%である。これだけの中絶があるということは恐ろしいことで、

こういうことのないように指導をしていき、あらゆる機会をとらえて家庭で子供を健やかに産み育てようというのを申し上げている。赤磐市でたくさんの子供を産んでいただく、そのためには医療費の助成を現在では就学前までに引き上げているがさらに引き上げをしていく。

また、学童保育の充実を図り、幼児教育に取り組んでいく。

また、少子化時代を迎えて性教育の大切さを十分学校教育の中でも認識をしている。

その世代に合った理解ができる範囲での指導が原則であると考えており、今後十分学校教育の中に生かしていきたい。

問 北部地域ラストワンマイル
事業への取組はどうか

答 市域全体で研究する



井上稔朗議員

問 情報格差の是正と地上デジタル放送の難視聴対策として、民間参入が見込まれない北部地域（吉井全域、熊山・赤坂の一部地域）へ光ファイバー網の整備が必要と思うがどうか。

答 難視聴地域・ブロードバンド未整備地域の解消はできるだけ民間主導で、北部地域だけでなく、市域全体で研究したい。

問 ラストワンマイル事業は、道路整備と同様の地域インフラ整備の一つである。情報格差を放置すれば、都市部と過疎地の生活水準の格差はますます広がり、難視聴についても早く方針を示す必要があるがどうか。

答 財政が許せば光ファイバー網の整備をやりたい気持ちは持っているが、今のところ難しい。

問 県北の新見・真庭・美咲・美作は、農水省の予算でラストワンマイルに取り組んでいる。

赤磐市北部が県内で最も情報格差のある地域になってからでは遅いと思うがどうか。

答 ラストワンマイル事業を出来るだけ早く導入し取組む姿勢はあるが、財政的には難しい部分もあり研究する。

中央図書館建設にPFI導入を

問 中央図書館建設へのPFI方式の導入について、検討はどうか。

答 中央図書館建設へのPFI導入には課題が大きいことから、一般公共事業で実施する。



地域公共ネットワーク構築事業

問 行政改革に積極的に取り組むと明言している中で、大きく事業コストを削減する可能性があるPFIを調査もしないで図書館建設を進める姿勢は正しくない。

答 図書館単独のPFIは前例がない。絶対にやらないということではない。もう少し研究するが、公共事業でやりたいと思っている。



乳幼児健診



親水公園イメージ図

問 親水公園（立川）の計画とその概要はどうか

答 憩いの場として家族でくつろげる公園にする

問 山陽浄化センターの建設工事は、順調に進み完成に向けピッチがあがっている。

答 同センターの関連整備事業である親水公園は、いつ頃から着工し、どのような施設となるのか。また、管理等はどうか。

答 平成12年3月に締結した山陽町浄化センター建設事業に係る協定に

基づき地域住民の憩いの場として計画したものである。

面積約40000㎡で、整備内容は中央に小川が流れ、水辺で遊べる施設や、水生動物・植物を鑑賞する施設、また、地域住民の運動会ができる広場・休息施設を整備し、家族でくつろげる公園を計画している。

工事は、地元との協議により18年度に修景施設や植栽の一部の予算を計上し、順次工事着手していく。また、維持管理については地元の協力もお願いし、管理していきたい。



海野雅之議員

市長の18年の展望と決意を問う

問 18年は、荒嶋カラーを打ち出すスタートの年である。

答 新施策と共に、昔からの伝統文化行事を切り捨てるなどの声も多く聞いている。十分に考慮されたいがどうか。

問 今年度は町から市へ移行したことで業務の高度化、多様化、仕事の進め方、職場環境の変化等職員ともども手探り状態で業務をこなした状況であった。

答 来年度以降は財政状況を勘案し、優先順位も考え個性と魅力にあふれたまちづくりの実現に事業を展開していきたい。

問 瀬戸町長は岡山市との合併を検討したいとの正式な意思を示された。赤磐市の現状と今後について、行政運営、財政、警察、教育、消防等の影響についてどう考えるか。

答 当面、瀬戸町の動向がどうあれ、赤磐市のこれからのまちづくりには特に問題となるようなことはないと考えている。赤磐市総合計画の策定並びに行財政改革審議会を立ち上げ、簡素で効率的な行財政運営を推進する。

問 赤磐消防署南出張所について

答 出張所再編を含め5カ年の整備計画を早急に見直す



小引美次議員

問 赤磐警察署の再配置を県に強く働きかけている。県立高校については、市町村合併による学区の見直し・変更はないと思う。建て替え時には、赤磐市へ県立高校を持ってきてほしいと強く要望をしている。

答 赤磐消防の管理者として、本署、出張所の再編なども含め、5カ年整備計画の早急な見直しをするよう指示している。

下水道事業の公平な推進について

問 公共下水、特定環境保全下水道等が敷設不可能な地域への対処方針はどうか。

答 下水道の敷設不可能な地域の対象戸数はいくらか。熊山地域では、下水道の普及率が約50%を超えた時点で、公平感を持つため対処すると約束されていたがどう履行されるのか。



赤磐消防南出張所



荻田敏正議員

問 市として地球温暖化防止対策の取組みはあるのか

答 平成18年度に地球温暖化対策防止実行計画を策定し公表する

問 近年、世界の各国で猛暑や洪水・干ばつなど地球温暖化の影響とされる異常気象が頻発しているが、このまま温暖化が進み地球上の気温が上昇して行くとさまざまな問題が起きると予測されている。

市も、人類益・地球益

の視点から地球温暖化問題に対処していくことが必要であると考えるが、取り組みはあるのか。

答 地球温暖化対策の推進に関する法律が1999年4月に施行、温室効果ガス排出抑制のための実行計画を策定実施して、地球環境の保全に取組む必要があると考えている。平成17年度を基準として合併後のデータを収集・調査し、18年度に赤磐市地球温暖化対策防止実行計画を取りまとめ、期間を定めて公表する。

事業仕分けによる行革推進を

問 「事業仕分け」は、市が本来やらなくてもいい事業を洗い流すというもので、大幅な歳出削減が可能になる。

答 この方法を導入し歳出削減すべきと思うかどうか。

答 現在事務事業を①拡大②継続③縮小④休廃止



熊山英国庭園（飯谷）

熊山英国庭園管理に指定管理者制度の導入を

これらの作業で経費節減を図り、市民ニーズに対応できる行財政運営に努める。

問 管理方法の見直しが必要なら17の公共施設をどのような管理方法で運用していくのか。

答 117施設については、現在3つの方向性を考えている。

熊山英国庭園管理については、協議して指定管理者制度の導入か、直営にするかを検討する。

問 インフルエンザ対策は

答 県の指導のもとに適切に行う



岡崎達義議員

問 赤磐市には養鶏農家がかかりあり、また各地のため池には渡り鳥なども飛来するが、糞の採取などを行ってインフルエンザウィルスの存在調査とか疫学調査などは行っているか。

答 小規模な市町村レベルではそのような調査の可能な専門職員・研究機関を擁していないので実施していない。赤磐市としては県の指導のもと手洗い、うがいの励行や予防接種の奨励を、広報紙を通じて実施している。

問 発生した場合の危機管理体制はどうなっているか。

答 ワクチンはそれぞれの医療機関で用意させている。自分で予防してもらい、ワクチン摂取を呼びかけていきたい。

ごみ有料化について

問 基本的にはごみ有料化はやむをえないと考えるが、負担の公平を図るということでのごみ袋の有料化は時期尚早ではないか。安易な有料化は外部不経済を生じ余計に財政を圧迫しないか。

答 廃棄物の処理については発生抑制・再利用が最優先と考える。排出総量を抑制することが減量化にとつて最も重要であり、ごみ袋有料化はひとつの選択肢である。

不法投棄等の外部不経済の問題も減量化できれば必ずしも圧迫とはならないと考える。

介護保険料について

問 介護保険料の算定はできたか。

答 基準月額が4250円程度になる見込み。旧山陽町で500円、旧赤坂町で609円、旧熊山町で992円、旧吉井町で275円増加となる見込みである。



不法投棄監視パトロール車

問

合併記念として
ごみ袋を無料配布せよ

答

減量化を図るためには
有料化は有効な方法である



川澄章子議員

問 ごみ問題は住民の住環境を守るといふ行政の責任において、多額になろうとも無料にするのが本筋である。この本旨を合併を機に投げ捨てるのは市として冷たい。約1万6000世帯に3000円相当を無料配布したとして約5000万円である。

答 排出総量を抑制し減量化を図るためには、有料化は有効な方法であり一つの選択肢である。生産者、消費者の意識改革が必要である。

行政事務連絡業務委託料の統一は慎重に

合併記念として全世帯に行き渡り、毎日の生活の中で感じてもらえる無料配布を打ち出してはどうか。

問 来年度に統一しようとしているが、十分話し合い、納得できるまで時期を延ばすべきである。また、委託料の上限は設けないのか。

この制度を

広報にて公表すべきではないか。

指定ごみ袋・荷札

答 時間はかかると思うが慎重に調整協議をして推進している。

各地域の上限は、考えていない。今年度の総額を3年間は維持したい。公表は話し合いがつけば検討したい。

介護保険料は一般財源繰り入れで低額にせよ

問 介護保険料の統一が検討されているが、旧4町いすれも高いことに不安と不満がある。

一般財源を繰り入れて低い熊山町の3250円を基準にすべきだ。また独自の減免制度を作ってほしい。

答 一般財源繰り入れはできない。現在算定中だが基準月額額は4250円程度になる見込みである。減免制度は考えていない。

問 桜が丘いきいき交流センターのルールづくりを

答 改善を図っていく



松田 勲議員

交通緩和に新下市橋の道路整備を

問 新下市橋交差点付近の朝夕の混雑はますます激しくなり、事故も多発している。

緩和策を早急に考え、県に働きかけていくべきではないか。

答 信号の制御だけでは、交通渋滞は緩和できない。県道用地があるので、現在、県と1車線増やす方向で検討している。早期に県の方へ着手を要望する。

青色回転灯の促進を

問 昨今、子供に関する事件が起きている。

地域安全活動の推進、また防犯のために、市としても青色回転灯の普及

と活動の促進を考えるべきではないか。

答 現在、市内では、桜が丘地域安全推進協議会に青色回転灯を整備された車が3台あり、1台を申請中である。

赤警署から委嘱された地域安全推進委員が、桜が丘地域内での青色回転灯を整備した車による自主パトロールをしている。学童の登下校時の安全、公園・集会所等の見回りや夜間スーパードの声かけなどの活動をしている。赤警署や関係団体と連携し、普及促進を図っていく。



青色回転灯を設置した街頭パトロール車



福木京子議員

問 各種料金の
住民負担増は慎重に

答 合併協の協議を基に
実施している

問 合併前は合併すればサービスは高く、負担は低くが叫ばれていたが、住民負担増が大きすぎる。激変にあたっては緩和策を施し慎重に行うべきだがどうか。

答 合併協の協議に基づいて実施しており、一部緩和策も施している。

今後は慎重に検討していく。

**赤坂給食センター
統廃合に納得いく
説明を**

問 赤坂給食センター統廃合について、納得いく説明をお願いしたい。小さい規模の方が有利な点が多い。

答 既に補正予算に統合の予算が出されているのはおかしいのではないかと保護者等の意見を聞いて進めていくべきだがどうか。

問 統合して食数が増えても運営の工夫によって従前と変わらぬ給食が提供できると思っている。

答 学校や地元の意向も踏まえ、担当委員会でも統合先について協議を進め調整している。



赤坂給食センター内（町岡田）

平和行政を推進せよ

問 平和行政を推進するため合併前の旧4町で宣言している核兵器廃絶の自治体宣言を行い、二度と戦争しないという決意を再確認すべきではないか。

答 過去において非核宣言を行っており、その方向で今後取り組みたい。特に日本は世界で唯一の被爆国であり、戦争は絶対反対である。

問 町内会、区へ支払われる行政事務連絡業務委託料（モデル案総額、4900万円）は、他市に比べ高額であり順次減額するとの見解があったが、具体的にどうするのか。

答 区長・町内会長との連絡を取りながら行政を進めていくことが住民福祉サービスの向上のため不可欠である。

まず各旧町での自治会組織を一本化するとともに市から自治会にお願いする連絡業務や委託料な

どの統一を進めている。

現在までに4回の自治会代表者会議を開き、代表者会議でまとまった案を基に各地域で、区長・町内会長との調整を行っている。

現時点では、了解をいただきたい地域と、更には話し合いを進めていかなければならぬ地域がある。

問 行政事務連絡業務委託料は
どうするのか

答 モデル案を3年間維持し
以後は見直しを図る



藤田圭右議員

備前市1300万円、真庭市2070万円、井原市860万円などと比較すると、高額であるが、モデル案を3年間程度維持したいと考えている。その間には、各地域での考え方や、行政の進め方も軌道にのってくとする。委託業務の見



タミフル

直しによる区長・町内会長への負担の軽減を図りながら、また、行財政改革の観点からも、年次的に削減を図っていきたい。

インフルエンザ対策は十分か

問 国、県の指導及び市独自の取り組みはどうか。

答 広報紙で手洗い、うがい等の予防対策の周知徹底をしている。

市立病院は現在300人分のワクチンとタミフルを12人分確保している。患者の発生状況にもよるが、必要量は確保できる見込みである。

問 干鉢地区の
湛水防除施設の方針は

答 国・県へ働きかけ
早急に対応したい



下村 脩議員

問 JR熊山駅のある干鉢地区は、低水地で吉井川への排水が悪く頻繁に内水による浸水被害を受けている。

平成10年のような大被害を受けなかったために、湛水防除施設の早期実現が望まれている。

地元の干鉢地区は、度々陳情をしているが、実現の見通しが現在もない。

備前ブロック広域ごみ処理場の話があり、これを引き受ける見返りの一つとして湛水防除施設をつくってもらおうと、希望を抱いていた。しかし広域ごみ処理場は実質白紙となってきた。

市行政としてどのような取り組みでいくのか。

答 平成10年の台風10号のときは、床上浸水18戸、床下浸水9戸、山陽本線軌道敷崩壊による数日間不通など甚大な被害があった。

国土交通省の工事により、ゲート操作の時間差で排水できるようコンクリート壁が新設されたが強制排水ポンプの設置はない。

流域面積226ヘクタール、標高差400メートル以上もあり瞬時に水が出る。

現在流域調査中で、必要ポンプ能力を検討し、所管委員会ともよく協議し、国、県へ要望しながら、補助事業も考えながら、早急に対応したい。



平成10年の台風10号災害（干鉢）

問 一般質問の答弁の
実行性と現状は

答 前向きに取り組んでいく



北川勝義議員

問 赤磐市で生誕された美泉定山に因んで熊本地区に定山公園の建設と定山溪観光協会（北海道）を通じての交流はどうか。

また、ドイツとの交流の現状はどうか。

答 定山公園の建設は、市観光協会と検討を行い、交流については定山溪観光協会と協調をとりながら対応する。

ドイツとの交流は、今休止状態にある。今後も交流していきたい。

問 リビート吉井の運営は経営能力のある民間企業に指定管理者制度を活用し委託してはどうか。

②英国庭園を地元管理としてはどうか。

答 ①指定管理者制度により平成19年12月までは里ワイン醸造場が運営する計画である。今後の運営方針については本年度中に協議したい。

②コラボレーション熊山（有）から平成18年度以降の事業計画、経費、運営方針の報告を受けた上で指定管理者制度を導入するか直営にするのか検討したい。できれば地元へ委託したらどうかと考えている。担当委員会の意見を聞き決断したい。

問 山陽ふれあい公園多目的広場の有効利用のため人工芝等を設置してはどうか。

答 健康運動公園の指定を受けているので整備にかなりの制約がある。今後整備計画等の資料を作り担当委員会と協議したい。

問 農地はつらつ事業の年齢制限の引き上げはどうか。

答 年齢制限は69歳だが引き上げに向けて努力したい。

問 前回、前々回に一般質問した①乳幼児医療費の拡充②老人福祉センターの入浴場の活用③特産品販売施設の建設④青空市長室についての答弁の実行性と現状について。

答 ①平成18年度から対象年齢の引き上げを実施したい。②社会福祉協議会に利用者の拡大を要請している。③JAあかいわと関係者によるプロジェクトチームを立ち上げ協議していく。④必要と考えるので開催に向け



リビート吉井（仁建中）

赤磐市議会議員 人権教育研修会

人権教育研修会が、1月17日(火)に開催され、議員全員が参加した。

岡山県人権啓発推進員の中畑英男氏による「人権が、尊重される社会の実現を目指して」についての講演とビデオ上映があった。

同和問題、女性や子ども、障害者、患者、高齢者、在住外国人、さらに個人情報侵害など時代とともに変化する人権問題の現状と県の取り組みについての内容であった。人権の大切さを考えさせられた。

たいむ すらりっぷ

No.3

赤磐市の北の玄関に位置する城型展望台「茶臼山城」の紹介。

茶臼山城は、天正年間には周匝城と呼ばれ、城主に關して二説あるが、

物証の残る佐々部説によると、城の築城年月日は不詳、佐々部勘齊は浦上宗景に仕えたとされ、宗景が備前に来て佐伯の天神山に築城したのが享祿4年(1532年)とある。

このことから、この城もそれより前、大永・享祿年間に安芸より来た佐々部勘解由が築城(築城技術が毛利型)子の勘齊が

宗景に仕えたと推測される。

天正5年(1577年)宗景の家臣、宇喜多直家が、下克上により主家宗景を天神山城に攻める。

要害堅固故調略にて、明石・橋本等に寝返らせ、風強き日に城に火をかけさせ落城。宗景は落失する。

同時に当周匝城へも延原弾正を得に攻め来るも、城兵奮戦しこれを撃退する。直家大いに立腹するも、時雨に毛利との小競り合いにて手が廻らず。

後に毛利と和し、天正7年、花房助兵衛職之、

延原弾正を得とした大軍に攻められ、天神山の残党を含め悪戦苦闘の末、城主佐々部勘齊討死。

息子の仙千代も「一の谷」で討たれ、落城。焼き払われ廃城となる。

その後半世紀を経、寛永9年池田光政鳥取より転封。その後、池田伊賀守長明が周匝陣屋を預かり二万二千石。以後代々岡山池田家家老職は維新まで続く。



城型展望台(周匝)

千代の悲しい秘話は現在でも周匝平野に住むお年寄り達の間で語り継がれており、今なお仙千代のお墓に参り願いをされる方もいらつしやると聞く。

どうぞみなさん夢を探しに茶臼山城へおこしあれ。

(茶臼山城伝記
周匝史跡保存会より)

人権 事件

次のとおり、適任としました。

人権擁護委員

菅形 美枝(南方)

3月定例会のお知らせ

次回3月定例会は、2月27日から3月22日まで、24日間の会期で開催予定です。

多くの皆様の傍聴を

お待ちしております。

あ と が き

決算認定58議案ほか、膨大な資料との対峙。中には深夜一時も過ぎて15時間を越えた委員会審議も。二度と経験出来ない濃密な12月議会でした。

希望一杯、自らの企画による成人式と各方面隊が集合した消防団初出式は本格始動の赤磐市で初の統一合同行事。新春にふさわしい出発でした。

新年度予算の審議も間近か。本年もさらに創意工夫を重ねて編集委員一同、より親しまれる議会だよりを目指します。

議会広報編集特別委員会

委員長	井上 稔朗
副委員長	小田百合子
委員	武本 一郎
委員	羽原 章
委員	岡崎 達義
委員	山下 浩史
委員	松田 勲

交通問題調査研究会を開催

市内の交通問題等全般を調査研究する目的で1月26日に開催した。

3月定例会において、特別委員会の設置を予定している。